

多世代交流施設の 建設始まる



完成予想図



順調に工事がすすむ

第2回臨時会 8月25日開催

- Q 工事の請負契約
多世代交流施設建設費
1億5660万円
- 契約方法
12社の指名競争入札
契約の相手方
佐々木建設株式会社
主要用途
児童福祉施設
- Q 指名業者は12社だが、
1社辞退の理由は、
A 人員の確保が困難な
ため。
- Q 落札業者は、町外であるが、
町内業者育成の方
策は、
A 特記として、町内業者
を下請けに使うように
規定している。努力規定
だが、働きかけをしてい
きたい。
(全員賛成で可決)
- Q 落札率89・4%は、
A 平成28年度の平均が、
92・99%であるので、特
に高いとは思っていない。

9月

の
会
例
定
あ
ら
ま
し

会期

9月1日から27日まで

議案

財政健全化判断比率の報告1件

幸田町固定資産評価審査委員の選任ほか2件

補正予算関係5件

平成28年度決算認定9会計

以上は、すべて同意・可決・認定した。

陳情

2件を採択し、2件を不採択とした。

議員提出議案

3件すべて可決。

一般質問

8人が町政全般にわたる課題をたじた。

介護保険条例の一部改正

介護保険法の改正で、罰則の対象者に、第2号被保険者の配偶者と世帯主及び世帯員を加える。

Q 対象者拡大の理由は。
A 介護認定に必要な情報収集の対象者として、必要となる場合がある。

Q 今までに、罰則の適用された事例はあるか。
A ない。

Q (反対2賛成13で可決)
地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正引用規程の整理がされた。
(全員賛成で可決)

一般会計補正予算

1億2034万9000円追加
納税者などの増により町民税増加。

主な事業

- 介護施設等整備補助金 5880万円
- 事業の内容は、特別養護老人ホームの多床室のカーテンをパー



整備がすすむ生活道路

テーションに替えて、プライベートに配慮した居住空間の向上を図る。

Q コミュニケーションの確保は。

A 食堂利用で、従来と同様の確保ができる。

Q 県費補助金の算定は、1床70万円の補助で、84床を計画。

Q 入居費は上がるのか。変更はない。

Q 生活道路等整備工事費 3000万円

Q 内訳は。各区長からの要望箇所

Q 側溝工事9路線、舗装工事7路線を予定。

Q 全体のどのくらいか。要望の約半分が整備できる。

・ハッピーズ・ヒル・幸田の用地購入費 5014万5000円

Q 面積と位置は。A 1筆991㎡で、センタープラザ北の芝生広場の一部。

Q 借地の残りは。A 11筆1万610㎡。(全員賛成で可決)

議員提出議案

定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書 (全員賛成で可決)

愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める意見書 (全員賛成で可決)

国の私学助成の拡充に関する意見書 (全員賛成で可決)

道路整備の長期安定的な財源確保についての意見書 (全員賛成で可決)

人事案件

固定資産評価審査委員

伊奈 稔 氏 (深溝) (全員賛成で同意)

平成29年度幸田町一般会計・特別会計 9月補正予算と採決結果

会計名	補正額	補正後の額	採決	
一般会計	1億2035万円	155億1093万円	全員賛成で可決	
特別会計	国民健康保険	3794万円	38億8266万円	全員賛成で可決
	介護保険	9206万円	20億3565万円	全員賛成で可決
	農業集落排水事業	財源更生(0)	3億4856万円	全員賛成で可決
	下水道事業	財源更生(0)	7億5358万円	全員賛成で可決

陳情

○定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書
陳情者 幸田町教員組合 執行委員長 山中 剛 (全員賛成で採択)

○国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
陳情者 武石幸一 (全員賛成で採択)

○愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
陳情者 武石幸一 (反対13 賛成2 で不採択)

○私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書
陳情者 武石幸一 (反対13 賛成2 で不採択)